

令和6年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係長、係員

氏名：小林寛和、緒方僚輝

受入課室等名	研究開発局 海洋地球課		
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	9月2日(月)	～	9月20日(金)
受入期間	上記期間のうち2週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	海洋科学について興味関心をお持ちの方やグローバルな視点での政策提案を体験してみたい方を歓迎いたします。なお、Word・Excel・PowerPointなど、パソコンの基本操作ができることが望ましいです(専門知識や技術は必要ありません)。		
実習内容	参加いただいた実習生の方には、期間中、「今後の海洋科学技術はどうあるべきか」について、考えていただきます。 日本は四方を海に囲まれた海洋国家であり、私たちは海からたくさんの恵みを得ながら社会生活を営んでいますが、その一方で、海洋汚染や異常気象など、様々な課題にも直面しています。海洋の価値を最大化しながら、海が抱える現代的な課題に対応していくために、「科学技術」が貢献できることは何か、海洋地球課の職員や研究機関の研究者から直接話を聞いていただきながら、検討を深めていただきます。 最終日には、海洋地球課職員に対して、文部科学省として今後取り組むべき方向性や対応について発表していただきます。忌憚のない、学生ならではの提案をお聞かせください！ <これまでの実習生の発表テーマ例> ○「カーボンニュートラル2050」に向けて「海洋研究」がいかに貢献し得るか ○我が国が「海洋資源」を確保するために必要な方策 ○「海洋研究者」育成プロジェクト 等 ○海洋プラスチック問題の現状と今後 ※海洋が専門でなくても、こうしたテーマで発表できるよう期間中にしっかりサポートします！		
受入課室等紹介	海洋地球課では、海洋研究開発機構(JAMSTEC)のほか、国立極地研究所や大学、国外の研究機関、関係省庁等と連携しながら、海洋・極域分野における研究開発を推進するための業務に従事しています。 研究機関や大学、他省庁の職員など、外部からの出向者が多く、人材の多様性に富んでいることも特徴です。これまでの参加者からも、文科省職員に限らず、「海」に関わる様々な方々との交流を通じて、多くの学びを得たとの話を伺っています。		
受入課室等からの一言	「環境問題」に興味のある方、「海」が好きな方、科学技術による社会課題への貢献に関心がある方など、幅広い方の参加を募集しています。ぜひご応募ください		

令和6年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係員
氏名：渡邊 花凜

受入課室等名	研究開発局 環境エネルギー課		
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	7月29日(月)	～	9月20日(金)
受入期間	2週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	気候変動問題やカーボンニュートラル実現について興味関心をお持ちの方や、文部科学省の業務を体験してみたい方を歓迎しています。Word,Excel,Powerpoint等、パソコンの基本操作ができることが望ましいです。(専門知識や技術は必要ありません。)		
実習内容	【環境エネルギー課の行政事務の経験】 ○環境エネルギー課内 各系の業務体験 ○会議の準備、運営補助及び傍聴 ○環境問題に対する情報収集、職員との意見交換 ○職員へのインタビュー、関連施設の見学 等、業務の状況によって変動する可能性はありますが、その他、参加者の方の希望を考慮して計画いたします。 興味・関心がある業務や分野がございましたら、志望業務欄にご記入ください。		
受入課室等紹介	文部科学省では、地球温暖化による気候変動問題を解決するため、持続的な発展を可能とする「脱炭素社会」への転換を目指した研究開発を推進しています。 具体的には ○気候変動の予測結果を活用する技術等の研究開発 ○省エネルギー社会実現のための次世代半導体の実用化に向けた分野横断的な知見の創出 ○革新的なグリーントランスフォーメーション(GX)を実現するための水素、蓄電池、バイオものづくりにおけるシーズの創出 ○大学の「知の拠点」として機能を活用し、カーボンニュートラル実現に向けた分野横断的な知見の創出等、大学、研究開発法人、企業等の地球温暖化対策の第一線で活躍している研究者とともに、様々な環境エネルギー科学技術の研究開発に取り組んでいます。		
受入課室等からの一言	環境問題に関心のある人はもちろん、行政、国家公務員の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。インターンシップを通じ進路選択の一助にいただければ幸いです。		

令和6年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：係員
氏名：安澤葉介

受入課室等名	研究開発局原子力課		
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	9月2日(月)	～	9月20日(金)
受入期間	2週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができること (専門的な知識や技術は必要なし)		
実習内容	【原子力課各係の業務補助を通じた行政実務の経験】 ・基礎資料の作成、データ修正、集計及び分析 ・委員会・作業部会の準備、運営補助及び傍聴 ※具体的な実習内容については、参加者の興味関心、希望等を考慮して計画する。		
受入課室等紹介	原子力課では、国として戦略的に重要な原子力の研究開発を実施しています。 ○原子力災害からの復興を加速させるために、廃止措置・除染等の必要な研究開発を推進しています。 ○原子力分野の基礎基盤研究・人材育成の取組を推進しています。 ○放射性廃棄物の減容化・処理処分の研究開発を推進しています。 ○高速炉の実証技術の確立に向けた研究開発を推進しています。 ○日本原子力研究開発機構を所管し、その運営に携わっています。		
受入課室等からの一言	国家的な研究開発プロジェクトや原子力に関する政策に興味・関心をお持ちの方の参加を心よりお待ちしております。		

令和6年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係長、係員
氏名：伊藤遼吾、河野正英

受入課室等名	研究開発局原子力損害賠償対策室		
募集学校種	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	8月26日(月)	～	9月6日(金)
受入期間	2週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	文部科学省の業務を体験してみたい方を歓迎しています。ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができることが望ましいです。 (専門的な知識や技術は必要なし)		
実習内容	【原子力損害賠償対策室の行政実務の経験】 ・原子力損害賠償対策室内 各班の業務体験 ・基礎資料の作成、データ修正、集計及び分析 ・審査会の準備、運営補助及び傍聴 ・関連施設の見学 等 業務の状況によって変動する可能性はありますが、その他、参加者の方の希望を考慮して計画いたします。 興味・関心がある業務や分野がございましたら、志望業務欄にご記入ください。		
受入課室等紹介	原子力損害賠償対策室では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一・第二原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する業務を行っています。 【主な業務内容】 ○原子力損害に関する法律の運用に関する業務 ○原子力損害賠償紛争審査会に関する業務 ○原子力損害賠償の未請求社に対する早期請求を促す広報業務 ○原子力損害賠償・廃炉等支援機構法に基づく許認可等の対応 ○原子力損害賠償紛争解決センターに関する業務 等		
受入課室等からの一言	専門的な知識や技術は必要ありません。原子力損害賠償対策室の業務に関心がある方はもちろん、行政、国家公務員の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております！		